

第3回二宮町行政改革検討委員会 会議要旨

開催日時	平成27年7月3日（金）10時00分～12時00分	
開催場所	二宮町役場2階 第一会議室	
出席者	委員	出席7名 後藤伸委員、手塚明美委員、廣上正市委員、柳川幸司委員、佐久間良輔委員、水口圭三委員、露木孝子委員
	その他	傍聴 4名
	町職員	政策部長
	事務局	政策部企画政策課3名
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. あいさつ 3. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第4次二宮町行政改革大綱の体系図（案）について (2) 第4次二宮町行政改革大綱（素案）について (3) その他 4. 閉会 	
配布資料	資料1 第4次二宮町行政改革大綱の体系図（案） 第2回二宮町行政改革検討委員会 体系図議論事項 資料2 第4次二宮町行政改革大綱（素案）	

■会議概要

1. 開会

2. あいさつ

3. 議 題 【質疑・意見など】（※◎は会長、○は委員、●は事務局の発言）

（1）第4次二宮町行政改革大綱の体系図（案）について

◎まず、基本方針の案について決めていきたい。

○業務の効率向上を基本方針としてあげたらどうか。

抽象化・簡素化されているためK P Iを行うように具体的な表現にする必要がある。

行政が行う取組みとしては特にI T化が必要と思われる。

◎業務の効率向上は重点目標や個別項目などに効率という記載が重複してしまうのではないか。

○スリムで強靱な組織の確立ではないか

業務そのものをどう考えるかをテーマにしないと効率向上の体制づくりが必要と思う。

◎スリムを基本方針で表現すると重点目標や個別項目にすでに使われている。どちらかを削除しなければならない。

○最適化は抽象的すぎて行政改革には定まらない。

○全体を網羅した基本方針を設定するべきではないか。

●基本方針で細かく具体化するつもりではない。

推進計画の数値目標は前回具体的な取組みで数値目標を設定しているが、今回は個別項目に数値目標を設定します。

○行政サービスをどのように設定していくかを基本方針で表現していくのではないか。そこを追求する言葉にするべき。

○行政サービスと民間サービスの質の違い近年は効率に重点を置いている。効率性を高める必要性はあるが、効率を基本方針として使用していいものなのか。

○基本方針で効率は今まで使ってきていないと聞いている。

○基本方針はある程度町民も含めてわかりやすく抽象的な表現にする必要がある。

○検討委員会で組織の効率について提案しているが、検討委員会ではリストラを提案していると思われるのではないか。

○企業の行政改革は経営改革になると思われる。企業は収入が減る場合は考えるが、収入が増える場合はほとんど考えていない。

○会社では5 Sが基本となっている。町も5 S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）について考えるべき。

○基本方針である程度抽象的であっても、大綱に詳細が記載されるものでカバーされればよいと思う。

○P D C Aに置き換えると現在話している効率の議論はD Oにあたる。今回はP L A Nのテーマのため案の中で決めていくべき。

◎経営ではひと・もの・かねで分ける。かねは2つ目の基本方針にあたる。ひとは3つ目の基本方針にあたる。ものに例えるのは難しいが組織と置き換えると1つ目の基本方針にあたるので、案1組織体制の強化ではどうか。

案2組織体制の最適化にすると基本方針で何に対する最適化かと疑問が発生しやすい。

案3スリムで強靱な組織体制の確立はスリムの記載が重点目標にあるため適さない。

個別項目及び具体的な取組み

○町民サービスの向上で中身の内容が解りづらいのでわかりやすくした方がよい。

◎町民目線にたった情報の伝え方の表現にする。

○アウトソーシングの推進は職員数の削減、人件費の削減にならないのではないか。

●個別項目に人件費の削減があったが議論の中でアウトソーシングの推進を個別項目にしていった経緯があり、具体的な取組みを推進することによって全体の人件費を削減していくイメージを持っている。すべての業務を職員でやっていくのではなく、外に出せる業務は出

していく。

○業務の見直しがアウトソーシングにあたるため、職員の削減では品が無い。

非常勤職員の雇用が多いと聞いている。可能な業務はアウトソーシングをするべき。

行政改革で検討している内容に逆行しているようなことが見受けられる。

○アウトソーシングの推進は歳出を減らすための手段と考えるため、財政に持ってくるべきではないか。組織の枠組みに持ってくるのは違う気がする。

○前回議論した事項に戻っている。

◎内部組織の中で業務を見直しアウトソーシングしていくと考えている。

人件費を抑制していく記載に変えてはどうか。

また、非常勤職員についてどうするかを含めて具体的な取り組みに項目を起こしてはどうか。

○雇用の見直しとして追加してはどうか。

公共施設の委託業務の一元化はどういう内容か。

●例えばラディアンへの委託はA社、役場の管理はB社など部署が違うことによって、発注が違っている。経費の削減を検討した場合、同様な業務は一括発注して削減していく。

○一括発注は効果を含めて慎重に考えた方がよい。

○公共施設の効果的な再配置についてどういう内容か。

●施設の有効活用を検討すべきと議論があった。

○統廃合は避けられないことが見えているため、統廃合は表記したほうがよい。

◎統廃合の決定機関はどこで決めるのか。

●町が決定機関になる。もちろん町民の方と議論を重ねていくし、議会にも諮る。

◎なぜ統廃合とならなかったか。

●前は統廃合として表記があったが、言葉として強すぎるという議論だった。

○最初から統廃合を考えるのではなく、施設の有効活用を考えていく中で、最終的に統廃合を検討していくものではないか。

○委員会として問題提起する意味で統廃合を表記する必要がある。表記しないと組織の中で議論していかない可能性がある。

●公共施設白書の中で改修しなければならない施設を記載している。今後は個別にどうしていくかを議論していく段階になっている。具体的な取り組みでは再配置の全体計画や実施計画を記載している。

◎統廃合を表記した場合、大綱の中で重みを持っていく。

統廃合を表記した時の数値目標のイメージと入れない場合の数値目標のイメージをどう考えていくか。

○統廃合ありきになると短絡的な目標になる。例えば学校3校を2校となってしまうと思う。長期的な維持管理計画の策定をするために効果的配置の方がよろしいのではないか。

◎統廃合が目的になると廃止が先行してしまうという意見と、委員会の提案としての統廃合を表記したらどうかという意見がある。

○財政的に厳しいから統廃合をしていくと表記した方がよい。

○施設の維持管理計画の中で延命を行いながら、統廃合・再配置を検討するのであればよいのではないか。

○町民や団体が公共施設の維持管理に携わっていくことも可能なのではないか。

●委員会の意見を取りまとめた内容は個別項目や具体的な取り組みとして大綱に記載していく。

○収納の強化と受益者負担の適正化はわかりづらい。

○収納の強化は未収納者からお金を徴収していくという意味。

○受益者負担は住民票の発行料金等のお金のこと。

○お金を取ることは財源を助けていくものなのか。精神的なものか。

●例えば、本来、下水道料金の受益者負担は100%とするものだが、町独自の裁量で設定している。

○公共施設維持管理の効率化の項目は削除してもよいのではないか。

歳出削減にあたるが、組織体制の強化のアウトソーシングの推進の中で考えているのではないと思われる。

- ◎組織の中で業務のアウトソーシングを検討し、機構としてスリム化を考えている。コスト面を考えただけのアウトソーシングではない。
- 職員数の削減は削除してもよいのでは。
- 業務内容の見直し、雇用形態の見直し、人件費の抑制と表記していく。
- 今後、民生委員や社会福祉協議会と連動した健康づくりの推進も必要である。
- 地域コミュニティ活動の推進で幅広く網羅できる。
- 公共施設の維持管理を意見があったが維持管理者の位置付けを町民参画と連動するのは必要と思う。
- 現在取組みをしているのでより推進していく。
- 公共施設維持管理の効率化は項目としては外していく。
- 産官学の連携によるまちづくりは高校生が入っていないため、高校生などの学生ボランティア表記をしていった方がよい。
- ◎中等教育機関と位置付ければ中学生も含まれるので追加したらどうか。
- 情報の透明化は町民との情報共有の推進はどういう内容か、また、相談窓口の一元化は町民とのワンストップサービスのイメージで良いか。
- ◎情報発信力の強化とイメージしている。相談窓口の一元化はまさしく、ワンストップサービスを含めた内容。
- 情報は鮮度が大事の為、スピーディに発信して欲しい。

規制緩和

- 規制緩和は次回議論となっていたが、例えば高さ制限の話があったと思うが、都市計画決定による高度地区は町決定となっている。都市計画法上の規定になっており、除外規定は、一定の条件を満たせば可能となっている。
- 今後、まちづくり条例の中でも町民提案制度を検討しているため、その中で議論が可能になってくるものと思われる。提案をもとに都市計画審議会の中で議論すべき内容となる。そのようなことから規制緩和については行政改革で検討すべき事項ではないと判断した。
- ◎事務局の説明であったとお見送りしたい。
- 人口減対策を考える際には、町外から投資の流入の障害になりそうなものは高さ制限などの規制改革を考える必要がある。
- 例えば、百合が丘の県営団地の建て替えや東大跡地などのスクラップアンドビルドする上での新規計画ではこれらの規制がマイナスになる可能性がある。総合計画で議論していくものだが、行政改革でも触れていくことが必要と考える。
- ◎検討委員会として提案はしていかないが、行政改革検討委員会の委員から規制緩和の発言があったと報告に記載するようになる。
- 提案には議事録などを添付していく形式にしたらどうか。
- 今後の流れについて
- これまでの3回のまとめたものを次回会議までに送付します。
- 議論した内容まで網羅したものになるのか。
- 委員会から提案事項については詳細の経過まで記載していく。

(3) その他について

- 次回の二宮町行政改革検討委員会第4回は7月27日月曜日午前中に開催します。

7. 閉 会